

課題	県土が広い新潟県において、県内高速バスネットワークは県内主要都市間を結ぶ重要な移動手段である一方、利用者減少や採算性低下等により減便・廃止が進み、利便性が低下している。このまま利便性を低下させるとさらなる利用者減少やネットワーク縮小に繋がる悪循環に陥ることが懸念される。		
プロジェクト概要	[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)] ● 上越線沿線において、高速バス車内や停留所において、QRコードをスマホで読み取り、専用フォームから到着バス停でのタクシーを事前に手配できるサービスを提供する。 ● 上越線沿線を含む、県内高速バス沿線において、企画乗車券や沿線シェアモビリティ等二次交通の情報発信に取り組み、高速バス及び二次交通の利用促進を図る。 [モビリティ・データの取得と活用] ● 本事業で把握できたタクシー利用者の利用時間や目的地などを分析することで、高速バスとタクシーを乗り継ぐ利用者のニーズを把握し、利用促進策やカーシェアやシェアサイクルなど、タクシー以外の二次交通整備につなげる。 ● MaaSサービスを活用した企画乗車券に取り組み、バス利用者の属性分析を行い、高速バス及び二次交通の利用促進を図る。 [エンドコンテンツとの連携] ● GTFS-RTのデータを活用し、バスの運行情報をタクシー事業者を共有することで、幹線交通である高速バスとその先に運行に合わせたシームレスな配車を目指す。 ● 商業施設や観光施設を連携した企画乗車券に取り組み、高速バスによる移動や消費喚起を図る。		
	事業エリア/交通事業	事業エリア:新潟県／ バス:新潟交通(株)、越後交通(株)、頸城自動車(株)、泉観光バス(株)、アイ・ケーアライアンス(株) タクシー:弥彦タクシー、中越交通、つばめタクシー、相互タクシー他	
	MaaSアプリ等	● 電腦交通DS(クラウド型タクシー配車システム) ● 電腦交通タクジット(タクシー手配フォーム) ● Bus vision for ときライナー ● Stera stransit又はその他乗車券アプリ	
	データの活用等	■ データの取得方法:、バス乗降データ、タクシーの利用日時、乗車停留所、到着地(任意) ■ データの活用方法:高速バスとタクシーの乗換ニーズの分析、適切な二次交通分析	
効果	● 幹線交通である県内高速バスと二次交通であるタクシー・ライドシェアといった異なる交通モードをシームレスにつなぎ、利用者にとって分かりやすい、使いやすい交通ネットワークとなることにより利便性向上・利用者増加の効果が期待される。		
事業の新規性	■ これまでは、高速バス利用者とタクシーはそれぞれで乗車、予約等が必要だったが、乗継特化の配車システムを活用することで、タクシー・ライドシェアといった二次交通と県内高速バスの接続を可能とする。 ■ 高速バスとタクシーを配車システムを活用して連携する取組は全国で初		

座組	スケジュール
実施団体 全体統括 県内高速バスネットワーク協議会 システム改修 電腦交通 バス運行主体 新潟交通・越後交通・頸城自動車・泉観光バス・アイ・ケーアライアンス タクシー運行主体(※) 弥彦タクシー 中越交通 つばめタクシー 相互タクシー	4～6月 システム改修 7～11月 実証期間 12月～2月 集計・効果測定

